



全国の自治体で下水道事業に携わる職員108名に聞いた！

**【点検義務化、本当に対応できますか？】**  
**7割超が「要修繕」判定後も着手できず、**  
**最大のボトルネックは仮設水処理の検討**

自治体下水道における点検と修繕のギャップ実態調査

# Research Outline

## 調査概要

### 調査機関

セイスイ工業株式会社

### 調査名称

自治体下水道における点検と修繕のギャップ実態調査

### 調査方法

IDEATECHが提供するリサーチマーケティング「リサピー®」の企画によるインターネット調査

### 調査期間

2026年6月4日～同年6月5日

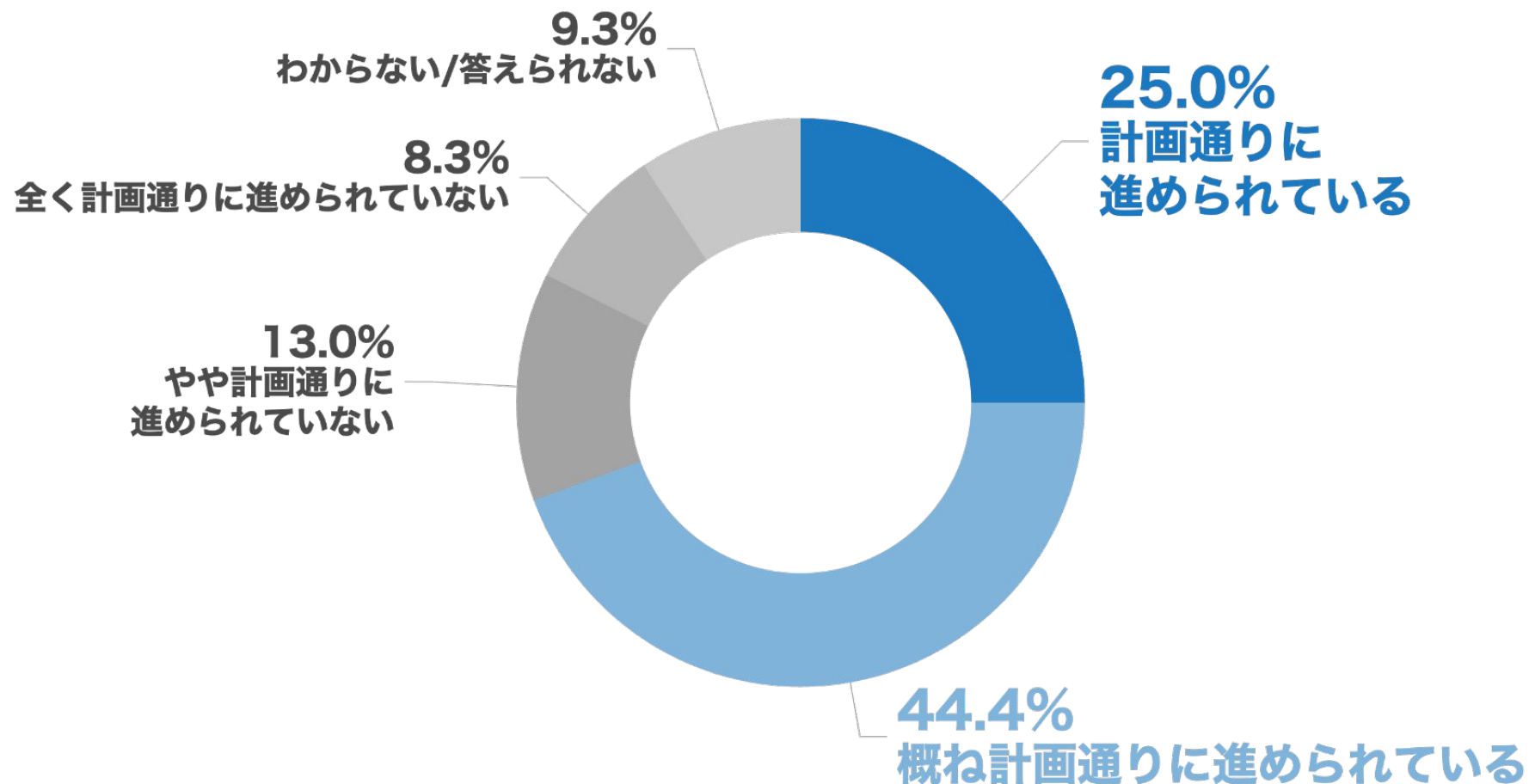
### 有効回答

全国の自治体で下水道事業に携わる職員 108名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

# Q1

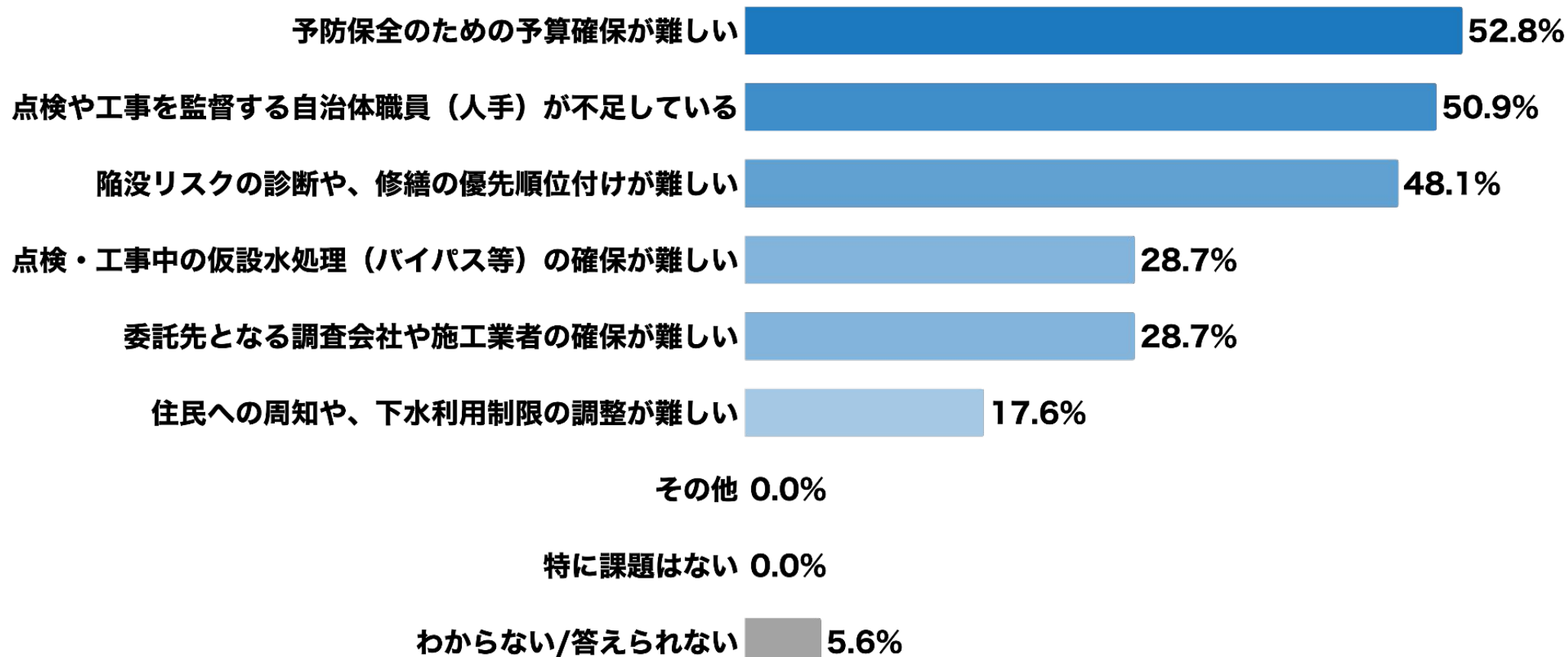
あなたのお勤め先の自治体において、所管する下水道インフラ（管路・処理場等）の「点検・予防修繕」を計画通りに進められていますか。



自治体職員の約7割が点検・予防修繕を「計画通り」または「概ね計画通り」に進められている一方で、2割超の職員は遅れを認識しています。

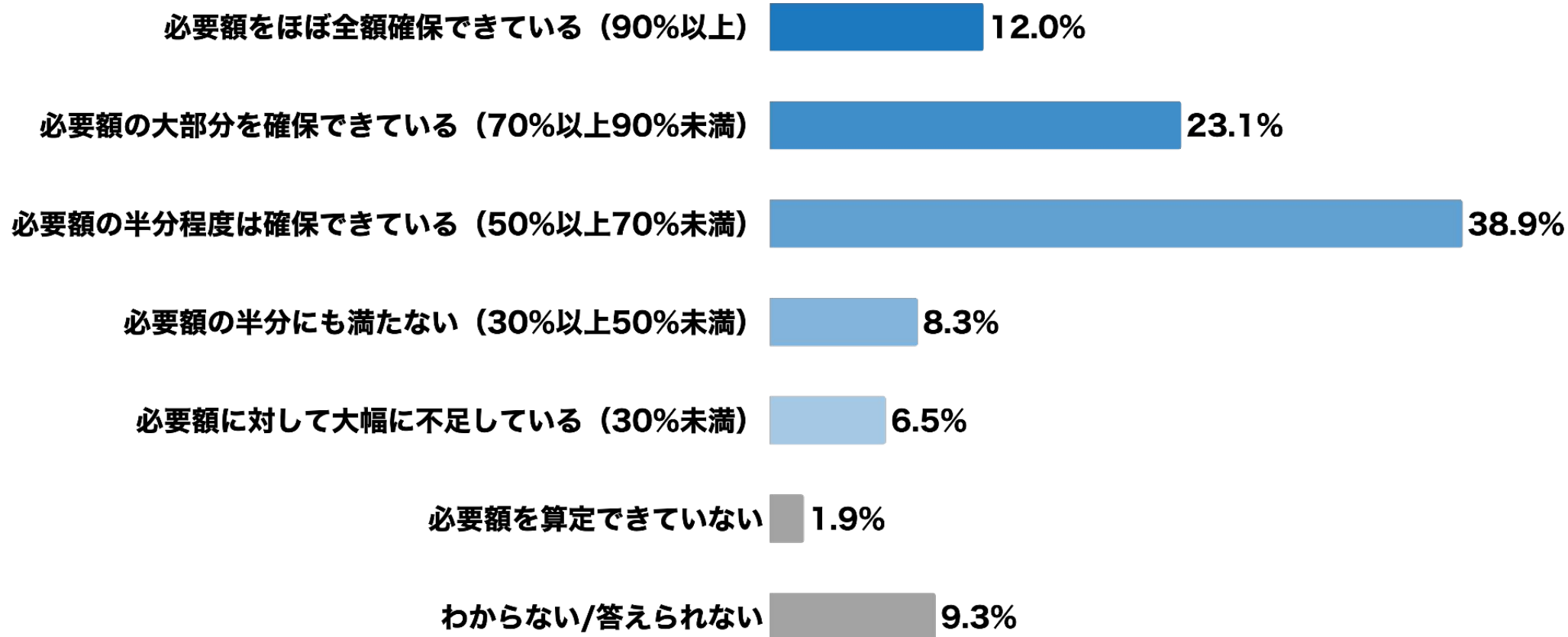
## Q2

点検義務化に伴い、今後「点検・予防修繕」を進める上で、課題に感じることを全て教えてください。(複数回答)



点検義務化を前にした三大障壁として、「予算確保」(52.8%)、「人手不足」(50.9%)、「優先順位付け」(48.1%)が挙げられています。

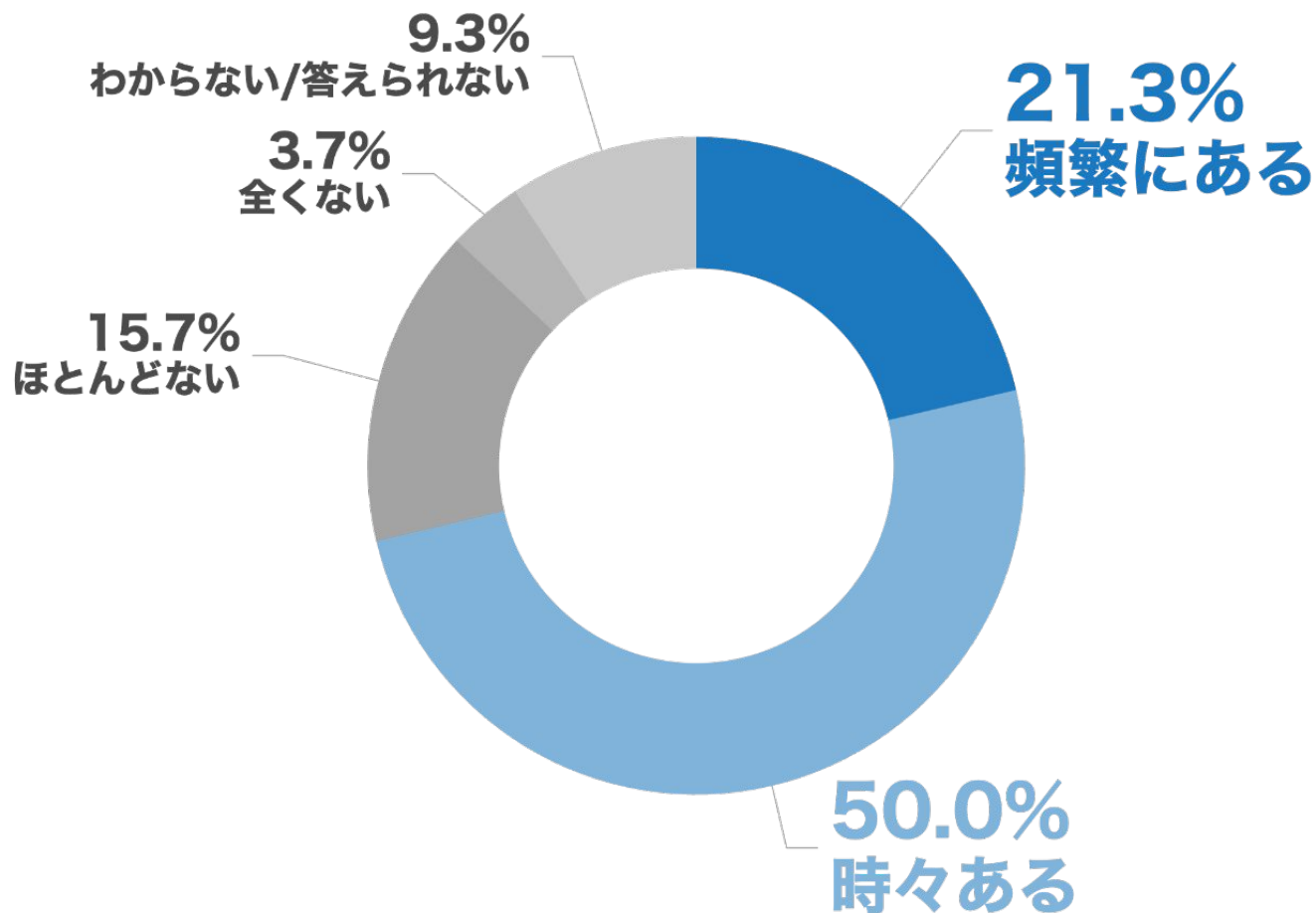
### Q3 あなたのお勤め先の自治体において、下水道インフラの点検・予防修繕に必要な「年間予算」は、現場として必要と考える額に対してどの程度確保できていますか。



半数以上の自治体職員が、点検・予防修繕の年間予算について「必要額の7割未満しか確保できていない」と回答しています。

## Q4

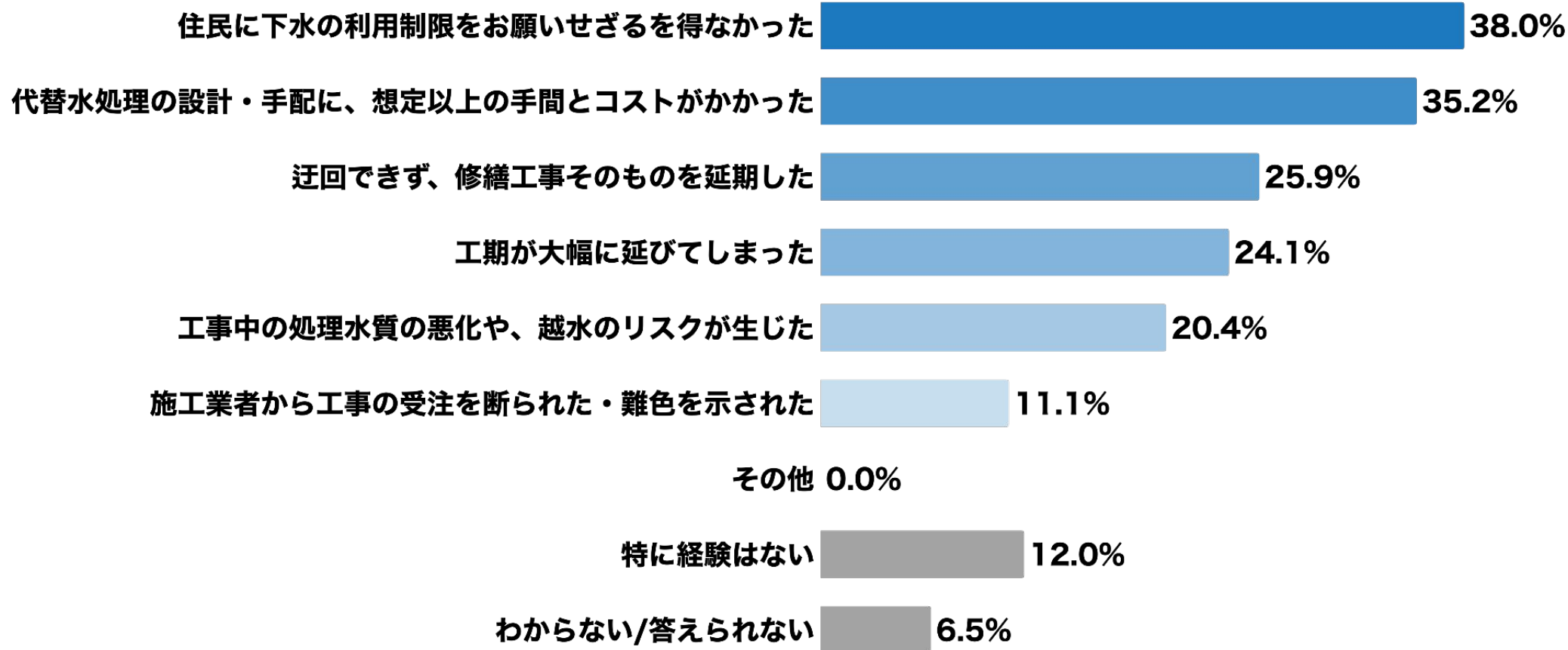
あなたのお勤め先の自治体では、過去に点検の結果「要修繕」と判定されたにも関わらず、修繕に着手できなかった（または大幅に先送りした）経験はありますか。



自治体職員の71.3%が、「要修繕」と判定された後も修繕に着手できなかった、または大幅に先送りした経験があると回答しています。

## Q5

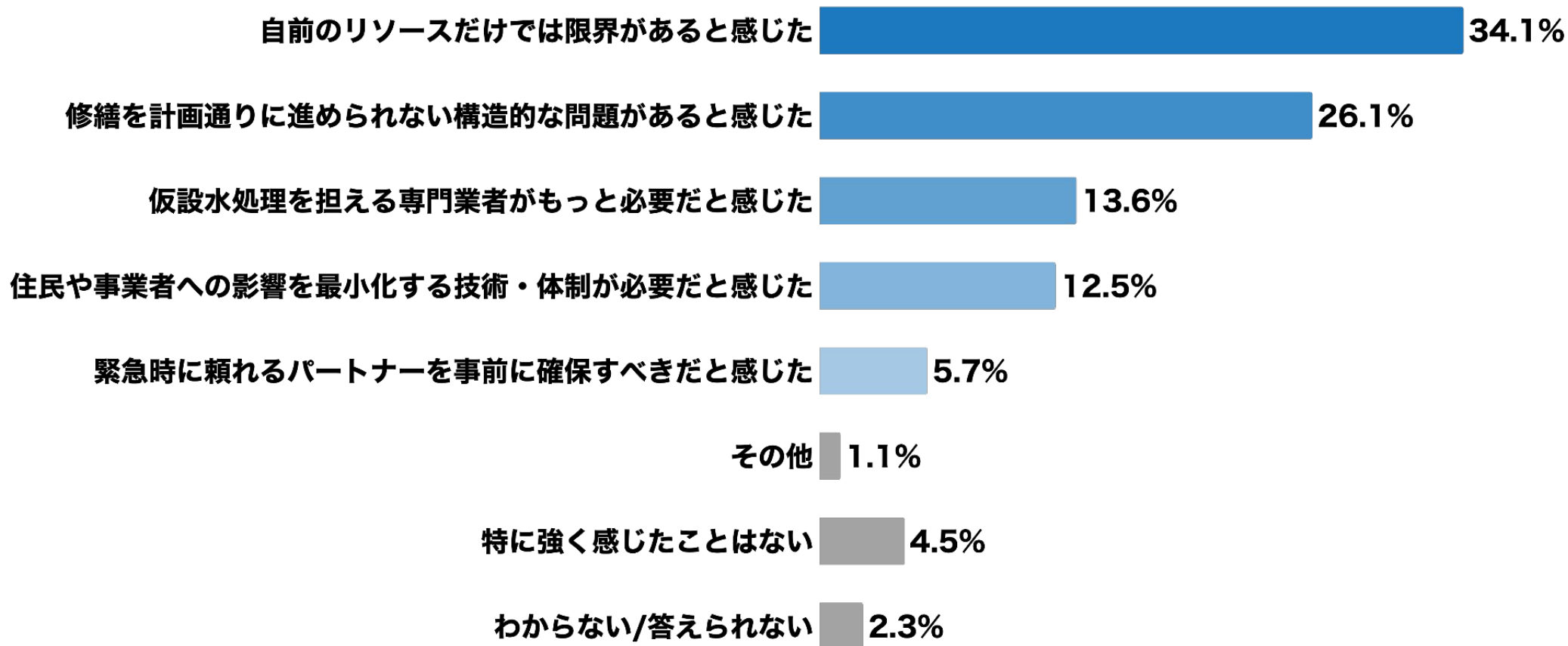
これまでの下水道インフラの点検・修繕において、「下水を止められない・迂回できない」ことが原因で、どのような問題を経験しましたか。(複数回答)



自治体職員が「下水を止められない」ことで経験した問題としては、「住民への利用制限」が 38.0%、「代替水処理の手間とコスト」が 35.2%を占めています。

## Q6

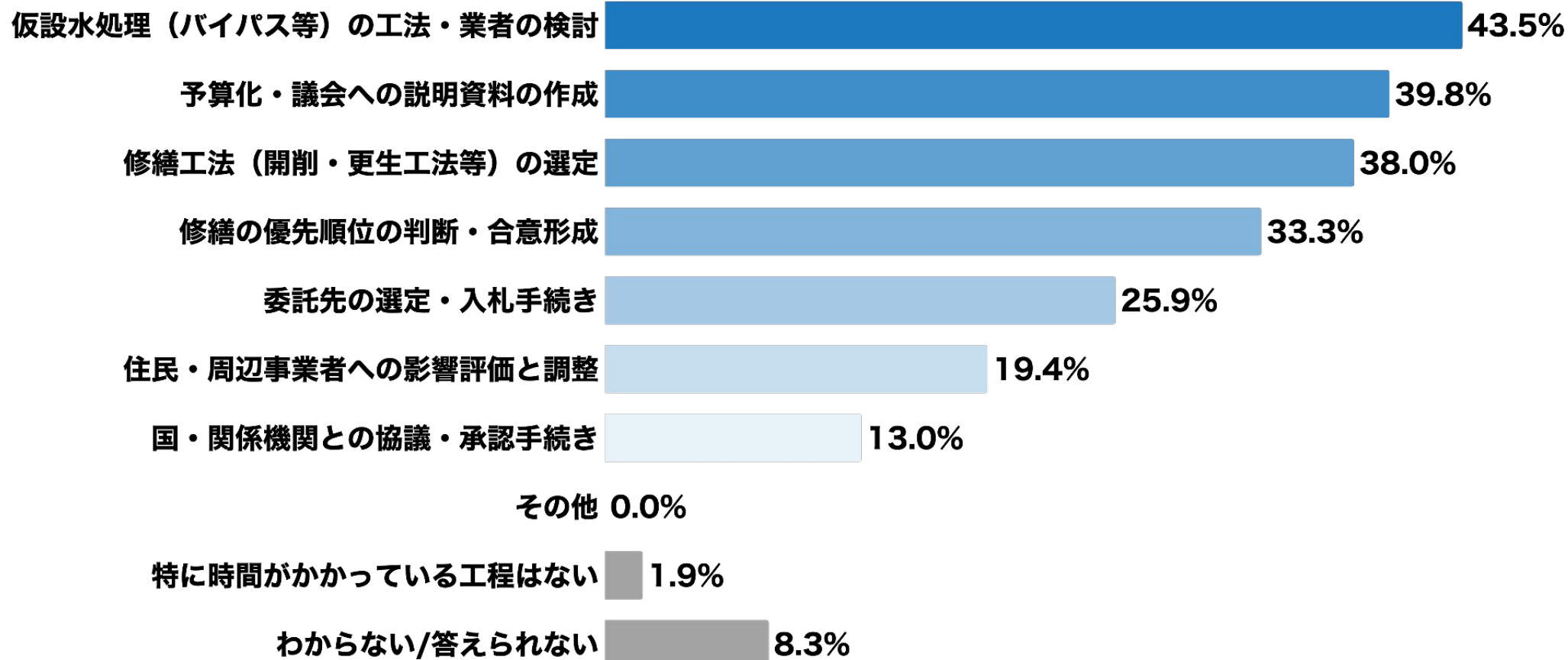
\*Q5で「特に経験はない」「わからない/答えられない」以外を回答した方への質問  
その経験を通じて、最も強く感じたことを 1つお選びください。



自治体職員の34.1%が「自前のリソースだけでは限界がある」と実感しており、「構造的な問題がある」と感じている職員も26.1%にのぼります。

## Q7

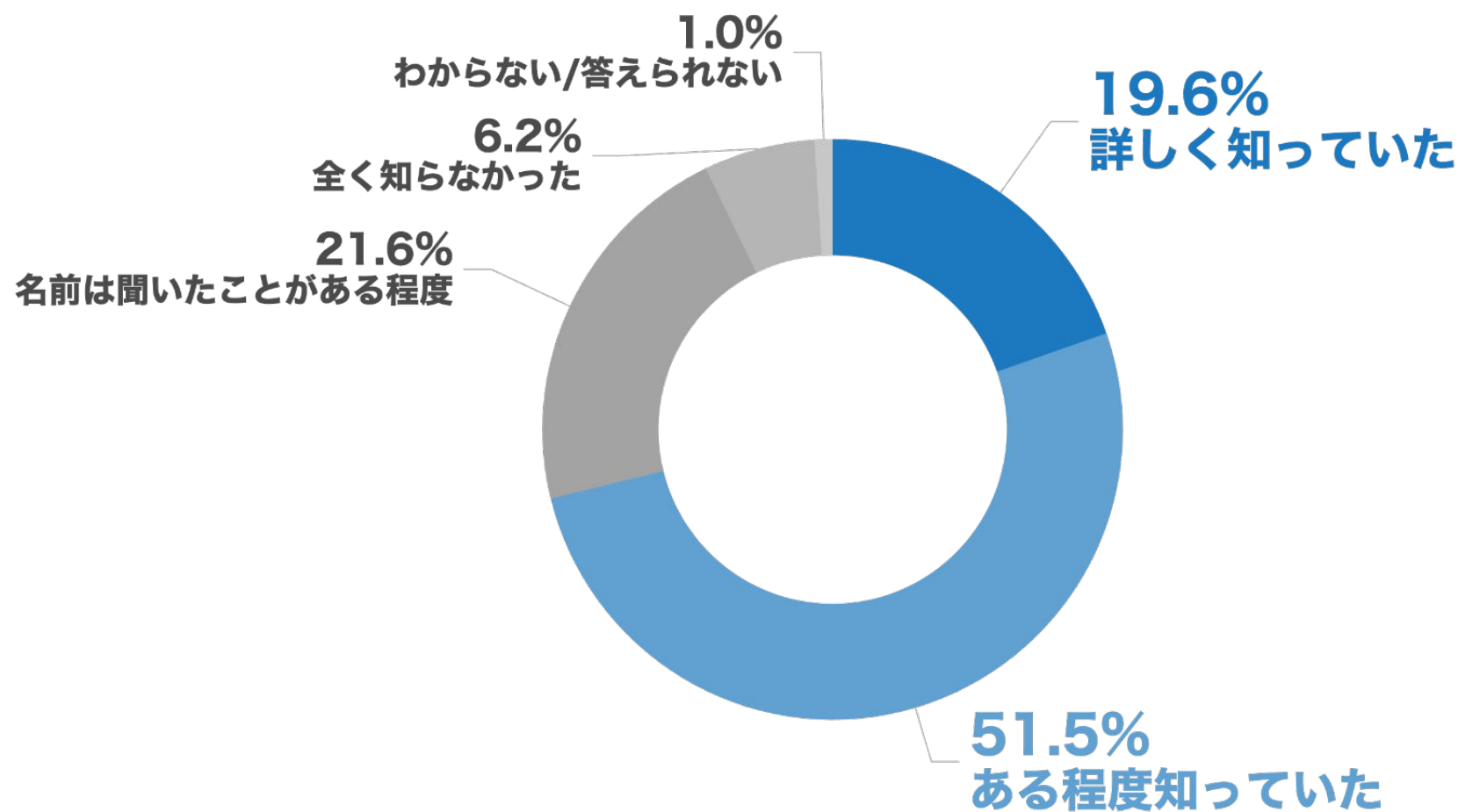
あなたのお勤め先の自治体において、点検結果に基づく予防修繕の意思決定プロセスで、特に時間がかかっている、または難しいと感じる工程は何ですか。(複数回答)



予防修繕の意思決定において時間を要する工程は、第1位が「仮設水処理（バイパス等）の工法・業者の検討」、第2位が「予算化・議会への説明資料の作成」となっています。

## Q8

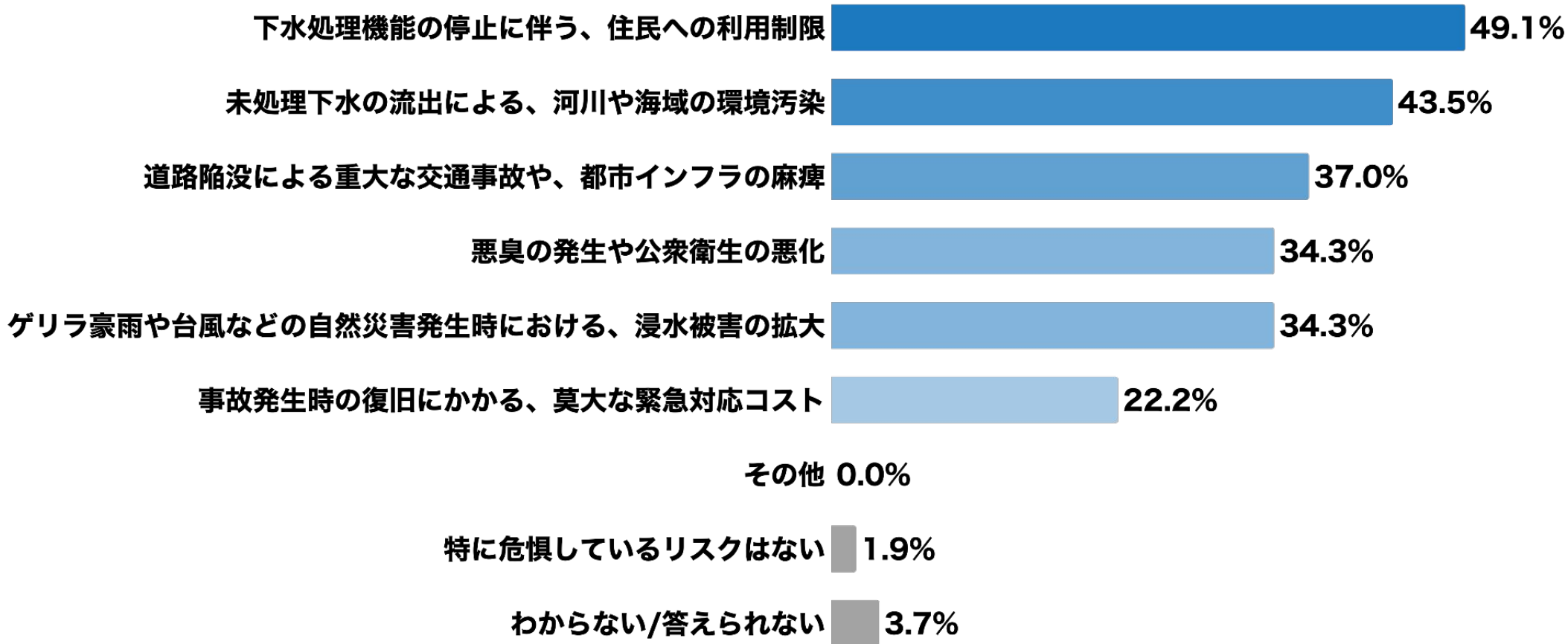
『仮設水処理(仮設バイパス処理・バイパス等を含む)』という工法・技術について、点検義務化の議論を聞く前からご存じでしたか。



自治体職員の7割超が「仮設水処理」について点検義務化の議論以前から認知していましたが、「詳しく知っていた」は2割弱にとどまっています。

## Q9

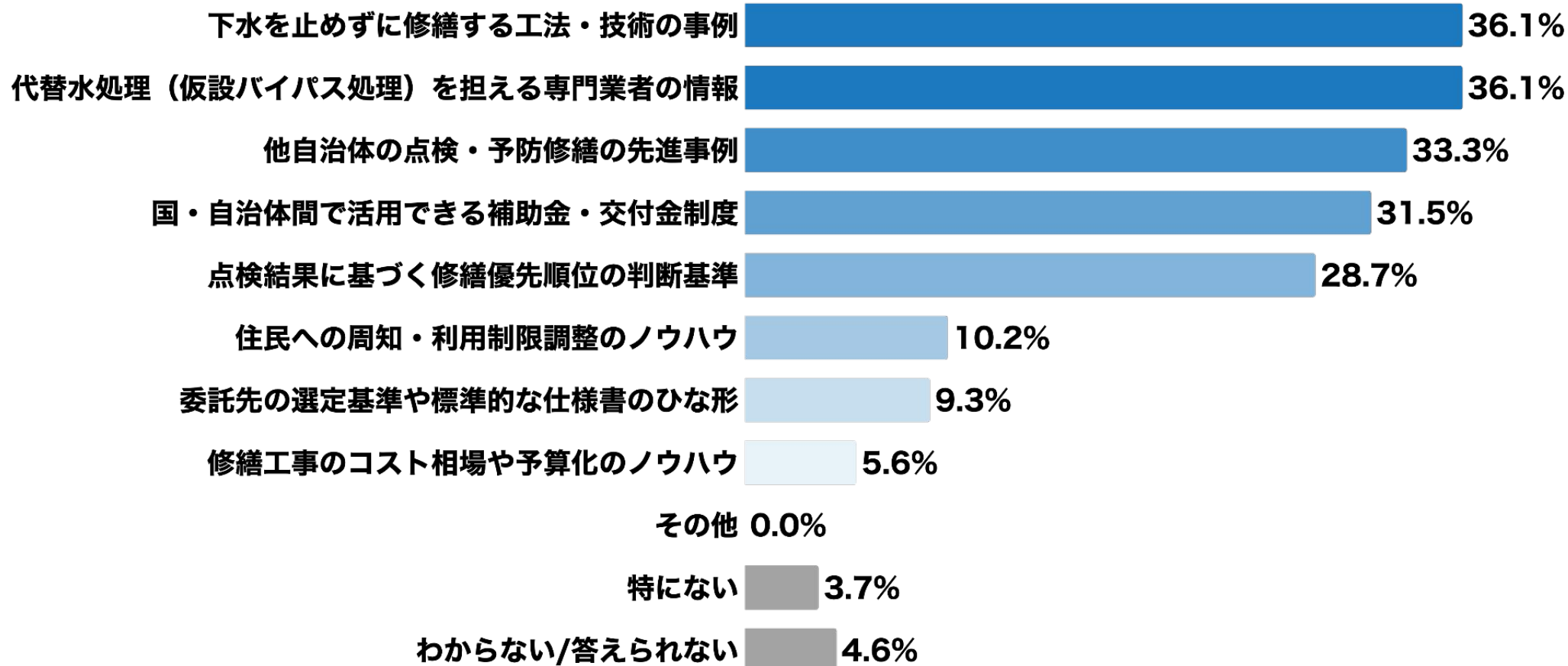
法改正に伴う「点検・予防修繕」への対応が遅れたり、代替水処理の制約で修繕が先送りになった場合、地域社会や環境に対してどのようなリスクを危惧していますか。(複数回答)



対応の遅れや修繕の先送りが生じた場合、自治体職員が危惧するリスクとしては「住民への利用制限」が約半数を占め、最も多くなっています。

## Q10

点検義務化に向けた対応を進めるにあたり、今後特に「情報を得たい」「事例を知りたい」と感じるテーマは何ですか。(上位 3つまで回答可)



自治体職員が今後情報を求めるテーマとして、「下水を止めずに修繕する工法」と「代替水処理の専門業者」がともに36.1%で最上位となっています。

セイスイ工業なら、下水処理場や各種工場、土木現場や災害現場などの様々な難しい排水や汚泥を処理可能

どう処理したらいいかわからない...

# その水処理、汚泥処理 セイスイならできます。

他社ではできない排水処理・汚泥処理、  
2,650件の豊富な実績に基づく技術力で解決します。

全国2,650件の豊富な実績レンタル用水処理機器を利用した仮設水処理プラントで解決  
他社ではできない排水処理・汚泥処理、2,650件の豊富な実績に基づく技術力で解決します。本設でも使用されている水処理機器を組み合わせた仮設水処理プラントをレンタルしています。工場や土木工事現場、下水処理場、発電所の排水・汚泥処理施設のメンテナンス時や機器トラブル時の代替処理、災害復旧など様々なご要望に対応します。

排水や汚泥の処理、水処理機器の補修や点検、トラブル時に、こんなお困りごとはありませんか？

- ・大量の廃水や汚泥の処理に困っている
- ・処理方法を模索したが適切な方法がわからない
- ・排水や汚泥処理のコストを下げたい

セイスイ工業なら、下水処理場や各種工場、土木現場や災害現場などの様々な難しい排水や汚泥を処理します。

# Contact

---

## お問い合わせ

### 企業名

セイスイ工業株式会社

### MAIL

seisui-kk@ideatechbaynich.jp

### WEB

<https://seisui-kk.com/>

### 会社住所

〒265-0045

千葉県千葉市若葉区上泉町424-18

ちばリサーチパーク内